

令和5年度 甲府市立富竹中学校 学校関係評価

I 目標の達成状況に対する意見

- ・「学校評価」全体が、教職員だけでなく、生徒・保護者も評価が高いことが素晴らしい。
- ・先生方の人数が限られている中で先生方が日頃から努力していることがわかる。大変感謝している。

○教育課程・学習指導について

- ・生徒の実態を考えながらの取組ではあるが、「個別最適な学び」と「協働的な学び」に向けて、継続してさらなる学力の向上を図ってほしい。
- ・タブレットを使用する環境は、整っているが、個人差（特にタブレットを操作するスキル）が大きく、家庭学習までタブレットを使っていくは厳しいのではない。先生方がしっかりと「課題」を出せる状況をつくっていくことがこれから大切となる。
- ・振り返りが一方的になっていないか（ICTばかり行っている）。対面での授業を重視し、人を見て察知しながら授業を進めて行くことが大切ではないか。そのため、紙ベースのものも必要ではないか。

○生徒指導について

- ・いじめに対する即時対応や動きの察知がどの学年もしっかりできている。日々の変化を見逃さず、声かけを行ってほしい。
- ・特に「いじめ」について、隠蔽するのは絶対にダメである。生徒の変化は見えないところで起こっていくので「いじめ（SNSに関わるものも含めて）」については、学校として変容を見落とさないよう、先生方には毅然とした態度でいじめ対策にはこれからも力をいれて行ってほしい。
- ・現在では、「LGBTQ」などのことも考慮し、制服の改定を相談していく予定はあるのか？また第3の制服についても検討していく必要があるのではないか。

○特別支援教育について

- ・学校の取り組みは概ね良好だと認められるが、現状の児童をみていると、今後ますます大変になるだろうというこが予想される。
- ・家庭への働きかけ、保護者への理解が必要である。
- ・生徒をよく観察する中で、引き続き生徒相互が学び合える環境を整えてほしい。

○組織運営について

- ・先生方の人数が少ないからまとまって様々ことに取り組むことができそうだが、一人ひとりの先生方の負が多く時間も制限されることで多く、組織としてスムーズに行かない部分がある。それらを考えると、先生方の人数を増やすことが必要である
- ・学年を超えた連携を密にとることや時間を見つけて分掌ごと話し合う機会をとっていくことが大切だと考える。

○教育目標・学校評価について

- ・特に、生徒や保護者に評価が高いことは、学校の取り組みが概ね良好だと認められる。
- ・年度当初の評価項目及び教育目標に基づき、進捗状況の確認と見直しを行う中で、より一層の評価の向上に努めてほしい。

II 取組の状況や改善策に対する意見

- ・限られた人数で学校運営を行っているが、このまま少人数で進んでいくと更に先生不足が続き、頑張っている先生方にしわ寄せがくるのではないか。
- ・今後とも、学校教育目標達成に向けて、より一層配慮をお願いしたい。
- ・自己評価は適正で、成果と課題を明確にし、改善に向けての努力が伺える。引き続きさらなる改善を積み上げてより良い学び舎としてほしい。